

中体連などで須恵中が大健闘

夏休み期間中に開催される中学校体育連盟などで、須恵中学校（米倉彰校長）が、女子剣道部、吹奏楽部、陸上部の各競技で大健闘して、九州大会や全国大会に出場することとなり、8月4日に生徒や校長先生たちが来庁して中嶋町長に報告を行いました。



▲女子剣道部

女子団体の部で優勝しました。そして、8月6日から8日に宮崎県で開催される九州大会と8月20日から22日に栃木県で開催される全国大会に出場しました。井上先生は「狙える時は狙って、旗を取ってきたいと思えます」と話されていました。



▲吹奏楽部

吹奏楽部（南光俊顧問）は、8月1日に福岡サンパレスで行われた、第20回福岡県吹奏楽コンクールで金賞を受賞し、

九州大会への推薦を受けました。それにより、8月29日に大分県で開催される九州大会に、福岡県の代表として出場しました。

陸上部（江藤文彦顧問）は、7月11日に博多の森陸上競技場で行われた、第50回全日本中学校通信陸上競技大会の一年男子100メートル競技で、一年生の田中竜一くんが2位の好成績をおさめました。

そして、8月7日に大分県で開催される九州大会に出場しました。

田中くんは「九州大会では全力を出して、精一杯がんばってきたいです」と話されていました。



▲陸上部 田中竜一くん（中央）

上須恵分団・佐谷分団と共々銅メダル獲得

糟屋地区消防操法大会

第44回糟屋地区消防操法大会が、7月25日（日）に粕屋町の粕屋中部消防署で行われました。この大会に、須恵町消防団（吉松安雄団長以下155人）を代表して出場した上須恵分団（小型ポンプの部）と佐谷分団（自動車ポンプの部）が、ともに3位に輝き銅メダルを獲得しました。

大会は、粕屋地区内の消防団員や消防・防災関係関係者などが参加して行われました。市や町大会から勝ち上がった選



手たちが、小型ポンプの部と自動車ポンプの部に各8チーム出場して、小型ポンプの部から競技が始まりました。

須恵町消防団は、上須恵分団が4番目に、佐谷分団が2番目出場しました。両分団の選手たちは、町大会から約2か月間にわたる厳しい練習の成果を発揮して、気合の入った操法操作を披露しました。

そして、競技を終えた選手た

ちには、テント応援席などで観戦していた団員や家族、消防団

OBたちから盛んな拍手が送られました。

山も男もみんな燃えまじた！

夏の恒例行事である上須恵祇園山笠が、7月25日（日）に同区の須賀神社をスタートして、上須恵の主要幹線道路を駆けめぐりました。

これは、上須恵山笠保存会が主催して、毎年7月24日に一番近い日曜日に実施しているものです。町の無形民俗文化財にも指定され、須賀神社の奉納行事、地区の伝統行事として根づいて

おり、その勇壮さは町内ではほかに例がありません。



保存会の伝統的なしきたりと、周到な準備で取り組まれている山笠。須賀神社境内前に設けられる「飾り山」から始まり、最終日に行われる「かき山」で最高潮に達します。



アジやキスが大漁でした！

西原区（池田保区長）子ども会育成会が、7月25日（日）に糸島郡の深江海岸で地引き網を体験しました。

これは、区内の交流と、地域全体で子どもたちを育てていく活動行事の一つとして、本年はこの地引き網を行なったものです。

この日、同会会員や子どもたちなど約100人が参加しました。海は風もなく、波もおだやかでした。参加した人たちは、海水浴やすいか割りなどを楽しみました。地引き網では、網の中にた

まめや焼き鳥、かき氷などの夜店が出店され大繁盛していました。

連日のうだるような熱帯夜を、少しでも涼しく過ごそうという地域の人たちが、夜遅くまでにぎわいを見せ、区民相互のコミュニティの輪が広がりました。

くさん入ったアジ、イカ、タコやキスなどに子どもたちは夢中になっていました。参加した子どもたちは「網を引いていたら、クラゲを投げられて怖かった」「なかなか見られないハンマーザメを見て心に残りました。いろいろな魚が獲れたので楽しかったです。刺身や天ぷらが、すごくおいしかったです」と話していました。



各区ごにぎやかな夏まつり開催

今年も暑い日が続いた7月か

ら8月にかけて、町内各区でに



ぎやかな夏まつりが開催されました。催しは、7月24日（土）に行われた新原区の「新原地蔵二十三夜祭」を皮切りに、納涼大会や盆踊りなど実施方法や呼称はさまざまですが、各区とも趣向をこらした行事が行われました。8月13日（金）18時から開催された城山区の納涼大会では、金魚すくいやヨーヨーすくい、子どもたちに大人気でした。また、婦人部によるおでんや自衛消防団による沖繩の塩で味わうえだ